



令和6年度当初予算
令和5年度2月補正予算
の概要

令和6年2月
福岡県



令和6年度当初予算編成の考え方

1000億円の人づくり

県内GDP20兆円への挑戦

将来を守るサステナブル社会への改新

未来を拓くイノベーションの創発

安全・安心で活力ある社会づくり

県民の皆様の命と健康、生活を守ることを第一に、

「1000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」の3つの柱に基づく施策を力強く実行し、福岡県の未来を見据え、成長・発展を加速前進させる。

この方針のもと、特に、

- ✓ 少子化の進行、これに起因した人口減少を背景とする人手不足への対応、物価と賃金の好循環の実現など先送りできない社会課題に立ち向かう。また、度重なる災害、新興感染症、地球温暖化など、県民の皆様の暮らしを脅かすリスクから**将来を守るサステナブル社会への改新**
- ✓ デジタルや先端技術、そして何より「人」が生み出すイノベーションの力で、労働生産性の向上や新たな価値の創出を図り、福岡県を成長・発展させる。**未来を拓くイノベーションの創発**

の2つの視点をもって、施策を展開

令和6年度当初予算と、国の経済対策を最大限活用した令和5年度2月補正予算、12月補正予算を一体とした**16か月予算**として、切れ目のない対策に取り組む。



令和6年度当初予算

一般会計歳入歳出規模

当初予算	2兆1,321億円 (対前年度比654億円、3%の減)	} 2月定例会提案額	2兆1,461億円
2月補正予算	140億円		
12月補正予算 (既決)	746億円		
<hr/>			
16か月予算	2兆2,207億円		

財政改革プランの目標達成状況

	財政改革プラン		6年度末見込
	目 標	6年度末見込	
県債残高 (普通会計ベース)	○やむを得ない要因(※)を除いた 令和8年度末の通常債残高を 令和3年度末よりも500億円程度圧縮	令和3年度末に比べ 306億円の減	令和3年度末に比べ 548億円の減
財政調整基金等三基金残高 (財源調整分)	○令和8年度末の財政調整基金等三基金残高を 400億円～500億円確保	485億円	661億円

※ やむを得ない要因：災害復旧・復興対策、国の防災・減災、国土強靱化への対応、国の補正予算対応、減収補填債発行、コロナ感染症対策

一般会計予算のフレーム

(単位：億円、%)

区 分	16か月予算				16か月予算 (今回提案)				比 較				
	令和4年度 12月補正予算 (経済対策)	令和4年度 2月補正予算 (経済対策)	令和5年度 当初予算	計 D (A+B+C)	令和5年度 12月補正予算 (経済対策)	令和5年度 2月補正予算 (経済対策)	令和6年度 当初予算	計 H (E+F+G)	当初予算		16か月予算		
	A	B	C		E	F	G		増 減	伸 率	増 減	伸 率	
人件費		0.4	3,784	3,785			3,950	3,950	166	104.4	165	104.4	
社会保障費			3,683	3,683			3,839	3,839	156	104.2	156	104.2	
公債費			2,400	2,400			2,469	2,469	69	102.9	69	102.9	
公 共 事 業 費	補助事業費	459		1,060	1,519	570	7	1,155	1,732	95	109.0	213	114.0
	単独事業費	12	1	775	788	0.2	2	786	788	11	101.4	0.2	100.0
	直轄事業負担金	47	2	186	234	42	1	183	225	▲ 3	98.4	▲ 9	96.2
	計	518	3	2,020	2,542	612	11	2,123	2,746	102	105.1	204	108.0
災害復旧費			105	105			156	156	52	148.6	52	148.6	
行政施策費	179	97	5,381	5,656	134	77	4,343	4,553	▲ 1,038	80.7	▲ 1,103	80.5	
市町村交付金等			4,256	4,256			4,257	4,257	1	100.0	1	100.0	
その他		1	346	347		53	184	237	▲ 162	53.2	▲ 110	68.3	
合 計	697	101	21,975	22,772	746	140	21,321	22,207	▲ 654	97.0	▲ 565	97.5	
コロナ対策関連予算除く	682	101	18,626	19,409	746	140	19,123	20,009	497	102.7	600	103.1	
歳 入			9,833	9,833			9,905	9,905	72	100.7	72	100.7	
地方譲与税等			990	990			1,148	1,148	157	116.0	157	116.0	
地方交付税	18	20	2,961	2,999	3	8	2,949	2,960	▲ 12	99.6	▲ 39	98.7	
国庫支出金	413	78	2,805	3,296	459	131	2,017	2,606	▲ 788	71.9	▲ 690	79.1	
県債	257	1	1,553	1,812	274	0.5	1,622	1,897	69	104.4	85	104.7	
通常債	257	1	1,276	1,535	274	0.5	1,478	1,753	202	115.8	218	114.2	
臨時財政対策債			277	277			144	144	▲ 133	52.0	▲ 133	52.0	
財政調整基金等三基金繰入金			323	323			260	260	▲ 63	80.5	▲ 63	80.5	
その他	8	1	3,509	3,519	10	1	3,420	3,431	▲ 89	97.5	▲ 87	97.5	
合 計	697	101	21,975	22,772	746	140	21,321	22,207	▲ 654	97.0	▲ 565	97.5	

歳出 <16か月予算の概況>

- ◆ **人件費** +165億円(+4.4%)
段階的な定年引上げや給与改定に伴う増
- ◆ **社会保障費** +156億円(+4.2%)
高齢化の進展等による医療費・介護給付費の増や
利用件数の増等による障がい者自立支援給付費の増
- ◆ **公共事業費、災害復旧費** +256億円(+9.6%)
R5梅雨前線豪雨災害の復旧・復興対策等による増
・公共事業費 +204億円(+8.0%)
・災害復旧費 +52億円(+48.6%)
- ◆ **行政施策費** ▲1,103億円(▲19.5%)
コロナ対策関連予算 ▲1,137億円(▲34.1%)
〔コロナ患者のための病床確保事業の減 ▲539億円
・コロナ融資の返済進捗に伴う預託金の減 ▲218億円〕

歳入 <16か月予算の概況>

- ◆ **県税等** +72億円(+0.7%)
企業業績の改善に伴う法人二税の増
※個人県民税の定額減税(▲1万円/人)の影響除きでは
180億円(+1.8%)の増
- ◆ **国庫支出金** ▲690億円(▲20.9%)
・コロナ緊急包括支援交付金の減 ▲731億円
・公立学校情報機器整備費補助金の増 +52億円
- ◆ **県債** +85億円(+4.7%)
・通常債 +218億円(+14.2%)
R5梅雨前線豪雨災害の復旧・復興対策等による増
・臨時財政対策債 ▲133億円(▲48.0%)
地方財政計画において、地方税の増加が見込まれた
ことに伴う減
- ◆ **財政調整基金等三基金繰入金**
260億円
〔R6地方交付税精算分 227億円
・臨時財政対策債償還分 33億円
※収支均衡を図るための取崩し なし〕

※ 表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある。
 ※ R6地方交付税精算分：令和6年度の普通交付税の算定における精算分（減額分）への充当のために取り崩すもの
 ※ 臨時財政対策債償還分：令和6年度の臨時財政対策債元利償還金への充当のために取り崩すもの



将来を守るサステナブル社会への改新

少子化に歯止めをかける、出産・子育て安心社会づくり

産後ケア利用者負担を軽減する県独自の補助制度を創設 1億2,063万3千円

産後の母子が心身ケアや育児サポートを受けられる産後ケア事業の利用促進を図り、母子の健やかな生活を支援



<産後ケアイメージ>

こどもたちに多様な学びの場を提供

全国初、「学びの多様化学校」を県立高校に設置 1,225万1千円

少人数指導や学び直し等の教育課程を編成できる「学びの多様化学校（不登校特例校）」を全国で初めて県立高校に設置（令和7年度）



<博多青松高校>

県内全域で博多青松高校の通信制課程を履修できる環境を整備 5,398万4千円

博多青松高校の通信制課程において、対面授業を協力校3校（ひびき高校、大牟田北高校、西田川高校）で実施



<地域経済を支えるトラック運送>

人手不足に打ち克つ、不断の働き方改革の推進

安定的な物流サービスを確保 [2月補正] 6億233万5千円

労働負担の軽減や拘束時間削減に向けた取組を行うトラック運送事業者を緊急支援

地域公共交通の人材を確保 1,722万9千円 [2月補正] 1億3,200万円

女性・若者・外国人などの多様な人材が、バス・タクシー運転手として活躍できる職場環境整備を緊急支援



<遠隔手術指導のイメージ>

物流・地域公共交通

外科医確保のための遠隔手術指導を支援 2,250万円

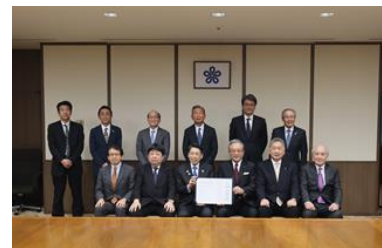
手術ができる現役世代の外科医不足や地域偏在の是正に向け、リモートでの手術指導に必要な機器を整備する病院を支援

医療

中小企業の持続的賃上げによる賃金と物価の好循環の実現

中小企業の持続的な賃上げを推進 420万3千円 [2月補正]3,312万円

「価格転嫁の円滑化に関する協定」締結13団体が連携し、「中小企業賃上げ応援専門家」による伴走支援、価格交渉スキルアップセミナーを実施



<価格転嫁の円滑化に関する協定>

デジタル技術を活用した防災力の強化

福岡西方沖地震から20年、地震対策、災害対応力を強化 1億1,771万9千円

被害想定調査を実施し、「ふくおか防災ナビ・まもるくん」に地震メニューを追加するとともに、災害時におけるAI技術や衛星データ等の活用を促進

土木施設の点検・管理におけるDX推進により、災害対応力を強化

1億4,775万6千円

ドローンとAIの活用により、災害時等の土木施設点検を迅速化・効率化するとともに、道路防災情報の一元管理システムの構築により、道路維持管理を効率化



ワンヘルスの推進

新興感染症
対策

ワンヘルスセンター研究力の強化 660万2千円

保健環境研究所において、病原体情報やレセプトデータ等を一元化するとともに、データ解析のためのワークステーションを整備



<ワンヘルスセンター(イメージ)>

環境の健全性の確保

太陽光発電設備等の共同購入とJ-クレジット制度を活用し、地球温暖化対策を促進 1,890万5千円

太陽光発電設備等の共同購入を推進するとともに、J-クレジット制度により家庭のCO2排出削減量の取引を実施

藻場の再生により、海のCO2固定を推進 1,471万1千円

藻場の保全活動によるブルーカーボン（海藻などに取り込まれた炭素）を創出するため、産学官が連携し、藻場のCO2固定量を算出しクレジット化するための技術開発や、保全活動で除去したウニを、地元産野菜を餌として養殖する取組を支援



未来を拓くイノベーションの創発

明日の福岡の“産業のコメ”への重点投資

半
導
体

半導体「最先端実装」開発拠点化の推進 2億4,827万1千円

企業版ふるさと納税を活用して「三次元半導体研究センター」に最先端機器を導入し、研究開発機能を強化するとともに、県内企業の取引拡大や新規参入、県外からの誘致を促進



<三次元半導体研究センター>

EV
・
電池

全国に先駆け、EVバッテリーリユース・リサイクルの福岡モデルを構築 1,450万5千円

全国初のEVバッテリーリユース・リサイクルモデルの構築に向けて、官民挙げた研究会を設置し、ビジネスモデルやロードマップを策定



<EVバッテリー>
(出典:日産自動車HP)

水
素

北九州市響灘臨海エリアを中心とした水素大規模拠点を構築 3,500万円

国の実現可能性調査事業を活用する水素供給事業者や全国初のFC船運航事業に取り組む事業者を支援



<響灘臨海エリア>

先
端
技
術
の
実
装

福岡バイオエコシステムの形成を推進 4,669万円 [2月補正] 2,169万7千円

ボストンへのビジネスミッション団派遣、米国での医薬品承認支援や海外展示会への出展支援など、県内バイオベンチャーの海外展開支援を通じ、福岡バイオエコシステムの形成を推進

イノベーションを創出する「拠点」、「人」づくり

拠
点
形
成

スタートアップ・ベンチャー支援拠点を形成 2,795万8千円

令和7年春の「CIC Fukuoka (仮称)」開設に合わせ、県の新たなスタートアップ・ベンチャー支援拠点「グローバル・コネクト・福岡 (仮称)」開設を準備

「金融・資産運用特区」認定を目指し、国際金融機能形成を促進 1億621万2千円

資産運用業者やFinTech企業等へのプロモーションのため、北米での金融関連展示商談会へ出展



<CIC Tokyo>

園芸農業の先端技術研究開発拠点を整備 4億60万7千円

農林業総合試験場の先端技術研究開発機能の強化に向け、新たな拠点施設の用地取得や基本設計等を実施

「ふくよかまる」の高品質種子をAIにより迅速に見分ける高性能選別機導入を支援 3,600万円

高性能選別機の導入支援により、販売単価日本一の大豆新品種「ふくよかまる」の全面転換を加速化

バンコク都と連携し、起業家精神を持つ「アントレプレナーシップ人財」を育成 708万5千円

本県と友好提携を結んでいるタイ・バンコク都のスタートアップに関心のある大学生や社会人を相互に派遣し、経済発展や社会変革に貢献する起業家精神を持つ人材育成プログラムを実施

新たな可能性を広げる女性・障がい者・海外人材の活躍

女性の創業支援を強化 [融資枠] 16億円 [保証料] 県と信用保証協会が全額補てん(0.95%→ゼロ)

県制度融資「新規創業資金」に女性向けメニューを新設し、創業支援を強化

テクノロジー分野における女性の活躍を推進 2,230万9千円

女性エンジニアにフォーカスを当てたPR動画を制作し、キャリア教育で活用するほか、女子中高生等を対象にした職場見学会を実施する「ガールズテックプログラム（仮称）」を開催

ARグラスを活用し、障がいのある人の就労分野拡大を支援 173万5千円

障がい者雇用が可能な運輸事業者等の業務を切り出し、就職前にARグラスを活用した訓練を実施



<ARグラスを活用した訓練>

海外人材の相談体制を強化し、多彩なステージでの活躍を支援 7,422万円

海外人材の生活や就労等に係る相談体制を強化するため、県と国等の海外人材専門機関が一体となり、ワンストップで対応する「FUKUOKA IS OPENセンター（仮称）」を開設





主な新規・重点事業 目次

1000億円の人づくり

未来を担う人づくり	09
経済成長を支える人づくり	11
いきいきと輝く人づくり	12
社会を支える人づくり	14

県内GDP20兆円への挑戦

県内経済発展を支える中小企業の振興	15
水素グリーン成長戦略の推進	17
グリーンデバイス開発生産拠点の形成	18
北部九州自動車産業グリーン先進拠点の推進	19
先端技術産業（バイオ、宇宙ビジネス、IT等）の振興	20
スタートアップ・ベンチャーの成長促進	21
魅力あふれる観光産業の振興	22
稼ぎ、夢のある農林水産業の実現	24
戦略的な企業・人材誘致の推進	26
将来に向けた社会資本整備	27
G X・脱炭素化の推進	28

安全・安心で活力ある社会づくり

災害からの復旧・復興、防災・減災、県土強靱化の推進	29
物価・エネルギー高騰対策	31
ワンヘルスの推進	32
こどもを安心して産み育てることができる地域社会づくり	34
ジェンダー平等、女性活躍の推進	36
誰一人取り残さない支え	38
スポーツ、文化芸術の振興	39
健康づくり、安心で質の高い医療・介護サービスの提供	41
地域の活力の創出	42
世界に向けた発信と交流の推進“FUKUOKA IS OPEN”	43
快適な環境の維持、保全	44
治安の確保	46
行政DXによる県民サービスの向上	47



1000億円の人づくり

未来を担う人づくり

新 こどもの意見を反映した「こども計画」を策定 2,446万7千円

- ・ こども施策を総合的に推進する「こども計画」にこどもや若者の意見を反映させるため、ワークショップや新たに構築するポータルサイト上で意見聴取を実施

新 こどもたちが世界に触れ成長する「世界少年野球福岡大会」を開催 4,027万円

- ・ 世界各国・地域と本県のこどもたちが野球を通じて交流し、国際感覚を高める「第30回世界少年野球大会福岡大会」を開催



新 こどもたちに文化芸術の鑑賞・体験機会を提供 591万2千円

- ・ こどもたちが文化芸術に触れる契機となるよう、劇団員や音楽家などを小・中・特別支援学校や小児医療施設等へ派遣
- ・ こども向けオペラや演劇などの鑑賞・体験の機会を提供する文化団体の取組を支援

新 県立高校における教育の充実 4,482万2千円

- ・ お金に関する商品やサービス等を自ら選択できる人材を育成するため、金融リテラシー教育を全校で実施
- ・ 高度な職業資格の取得を支援し、産業教育を充実
- ・ 優秀な外国人材を外国語指導助手専門員「ALTスペシャリスト」として配置し、英語イマージョン教育※などを推進

※英語イマージョン教育：英語以外の教科の授業を英語を使用して実施

※()内の金額は、令和5年度当初予算額

新 全国初、「学びの多様化学校」を県立高校に設置 1,225万1千円

- ・ 少人数指導や学び直し等の教育課程を編成できる「**学びの多様化学校（不登校特例校）**」を全国で初めて県立高校に設置（令和7年度）

新 県内全域で博多青松高校の通信制課程を履修できる環境を整備 5,398万4千円

- ・ 博多青松高校の通信制課程において、対面授業を協力校3校（ひびき高校、大牟田北高校、西田川高校）で実施

新 ～Chot GKI～ちょっと「玄海の家」に行ってみよう！大作戦の実施 891万5千円

- ・ 少年自然の家「玄海の家」において、**不登校児童生徒の社会的自立を支援**するため、自然体験や共同活動ができる環境を整備



＜少年自然の家「玄海の家」＞

新 不登校児童生徒の早期発見・早期支援 2,401万6千円 [2月補正]5,040万円

- ・ 学校内外で支援を受けられていない不登校児童生徒に対し、市町村教育支援センターが訪問支援や保護者からの相談対応を行う実証を実施
- ・ 小中学校における一人一台端末を活用した**健康観察アプリ**導入に向けた実証を実施
- ・ 小学校において不登校児童の学習支援や教育相談を行う、**不登校児童支援員**の配置を支援

新 特別支援学校生徒の希望する進路を実現 1,585万1千円

- ・ 児童生徒や保護者を対象に、外部専門家による進路サポートセミナーや就職ガイダンスを実施
- ・ 生徒のニーズに応じた就職先を開拓する就職支援サポーターを特別支援学校に配置

新 バンコク都と連携し、起業家精神を持つ「アントレプレナーシップ人財」を育成 708万5千円

- ・ 本県と友好提携を結んでいるタイ・バンコク都のスタートアップに関心のある大学生や社会人を相互に派遣し、経済発展や社会変革に貢献する起業家精神を持つ人材育成プログラムを実施

経済成長を支える人づくり

成長産業等で活躍するテクノロジー人材を育成 7,522万1千円 (5,679万4千円)

- ・ **【新】** 女性エンジニアにフォーカスを当てたPR動画を制作し、キャリア教育で活用するほか、女子中高生等を対象にした職場見学会を実施する「**ガールズテックプログラム (仮称)**」を開催
- ・ **【新】** 新たにIT自動車科を設置する八女工業高校に**燃料電池自動車**の実習環境を整備し、即戦力人材を育成
- ・ **【新】** 「**宇宙**」をテーマに、先端技術や県内企業の魅力を中高生が学ぶ「**テクノロジー人材創生塾**」を開催

新 実践的な研修により半導体中核人材を育成 832万円

- ・ 大学との連携により、「福岡半導体リスキリングセンター」に実機を使った実習講座を導入し、設計から製造、評価までを一貫して見渡せる半導体中核人材を育成

新 観光の担い手となる人材を育成・確保 3,481万5千円

- ・ 市町村や観光関連団体が推薦する地域観光のリーダー候補に対し、九州産業大学が実施する人材育成プログラムの**受講料の全額**を助成
- ・ 宿泊事業者に対し、**インターンシップ**の導入を支援するとともに、県内外の学生や転職希望者を対象とした**合同会社説明会**を東京・福岡で開催
- ・ 宿泊施設従業員を対象に、**おもてなし研修**を実施



<福岡半導体リスキリングセンター>

新 即戦力となる農業人材を育成・確保 4,152万1千円

- ・ JAトレーニングファームにおける**実践研修用のハウス**整備を支援するとともに、**スマートグラス**を用いた匠の技術伝承研修等を実施し、次世代の担い手を育成
- ・ 農繁期の異なる北海道から、外国人労働者を本県の園芸農家に受け入れるための住宅確保等を支援

いきいきと輝く人づくり

新 女子中高生のキャリアデザインを応援 600万円

- ・ 女子中高生が柔軟な発想と幅広い視野で将来のキャリアを考えられるよう、様々な分野で活躍する先輩女性とのトークライブや、**日本をけん引する女性リーダー**を招いたフォーラムを開催

女性活躍に向けた企業の意識変革を促進 1,746万8千円 (1,266万2千円)

- ・ **【新】** 企業経営層に対し、女性活躍に向けた若者の意見を動画で発信
- ・ **【新】** 企業経営層や人事労務責任者を対象に、女性が働きやすい職場環境整備促進のための研修を実施

働く場における女性の活躍を推進 7,777万円 (637万5千円)

- ・ **【新】** 働く女性の交流の場「**福岡キャリア・カフェ**」の出張カフェを北九州、筑後、筑豊地区で開催
- ・ **【新】** 「**ママと女性の就業支援センター**」を開設し、子育て中の女性や非正規・求職中の女性に対し、アドバイザーやキャリアコンサルタントがきめ細かな就業支援を実施



<福岡キャリア・カフェ>

新 女性の起業を促進 236万8千円

- ・ 起業を目指す女性や創業間もない女性を対象に、出産子育てとの両立などの相談に対応する「**女性の起業サポートデスク (仮称)**」を開設するとともに、女性の先輩起業家と交流できる「**女性起業家育成ネットワーク (仮称)**」を設置

新 働きたい高齢者への支援を強化 1,785万7千円

- ・ 生涯現役チャレンジセンターのWebサイトを改修し、高齢者の求職活動・社会参加をインターネット上で支援

障がいのある人の就労を促進 5,472万2千円 (3,381万9千円)

- ・ **【新】** 重度障がいのある人の社会参加と就労を促進するため、分身ロボットを活用した就労実証等を実施
- ・ **【新】** 障がい者雇用が可能な運輸事業者等の業務を切り出し、就職前にARグラスを活用した訓練を実施
- ・ **【新】** 障がいのある人を雇用していない企業へコンサルティングを行うとともに、重度障がい、精神障がいのある人のための短時間求人の開拓を行い、企業と求職者とのマッチングを実施



<ARグラスを活用した訓練>

障がいのある人のアート作品の魅力を発信 1,350万5千円 (434万円)

- ・ **【新】** 障がいのある人の収入向上を目指し、レプリカや画像データを販売
- ・ **【新】** 障がいのある人のアート作品を紹介する「まごころアート FUKUOKA Gallery (仮称)」を県庁ロビーに整備するとともに、市町村等と連携した展示会を開催



<レンタル作品例>
(作:山村 壮真「ともだち」)

社会を支える人づくり

新 「物流の2024年問題※」に対応するトラック運送事業者を支援 [2月補正] 6億233万5千円

- ・ 安定的な物流サービスを確保するため、トラック運送事業者が行うドライバーの負担軽減や拘束時間削減に向けた取組を支援

※物流の2024年問題：働き方改革関連法により令和6年4月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用され、物流の停滞が懸念される問題

新 地域公共交通の人材を確保 1,722万9千円 [2月補正] 1億3,200万円

- ・ 女性・外国人等がバス・タクシーの運転手として活躍できるよう、**女性用トイレ**の整備や**配車アプリ**の導入等を支援
- ・ 国や業界団体と連携し、バス・タクシー運転手の**魅力紹介動画**の配信や**運転体験会**、**合同会社説明会**等を実施
- ・ 外国人がバス・タクシー運転手として働けるよう、**第2種自動車運転免許試験学科試験を多言語※**で実施

※英語、中国語、ベトナム語、ネパール語

新 外科医確保のための遠隔手術指導を支援 2,250万円

- ・ 手術ができる現役世代の外科医不足や地域偏在の是正に向け、**リモートでの手術指導**に必要な機器を整備する病院を支援

新 在宅医療・介護従事者の安全確保を支援 3,157万円

- ・ 在宅医療・介護サービス利用者等からの暴力・ハラスメントに適切に対応するため、**マニュアル**の作成や**研修**を実施するとともに**相談窓口**を開設
- ・ 暴力・ハラスメントのおそれがある利用者宅への**訪問同行者の費用**を支援
- ・ 利用者宅にて身の危険を感じた際に、外部に**SOSを発信**するために必要な機器導入を支援

新 保育士配置改善対策支援補助金の創設 510万円

- ・ 国基準に基づく保育士の配置改善に対応するまでの間、**短時間勤務の保育士確保**を支援

※()内の金額は、令和5年度当初予算額



県内GDP20兆円への挑戦

県内経済発展を支える中小企業の振興

中小企業向け融資制度を充実 融資総枠1兆51億円（うち新規融資枠3,285億円）

- ・ **【新】** 新規創業資金に保証料ゼロの「女性創業型」「若年者創業型」を創設
[融資枠]女性創業型：16億円、若年者創業型：16億円 [保証料]県と信用保証協会が全額補てん（0.95%→0%）

中小企業の経営基盤を強化し、持続的な賃上げを推進 5,624万4千円 [2月補正] 3,312万円 (813万円)

取引適正化(価格転嫁)の推進

- ・ **【新】** 原価計算や価格交渉の進め方など、価格交渉スキルアップを目的とした**事業者向けセミナー**を開催するとともに、賃上げや価格転嫁に繋がる取組を専門的見地から支援する「**中小企業賃上げ応援専門家**」を派遣

人材の確保・定着・育成の支援

- ・ **【新】** 「**中小企業雇用環境改善支援センター**」を開設し、社会保険労務士が人材確保から定着・育成までの相談対応・セミナーを実施
- ・ **【新】** 非正規雇用労働者の正規化に向けた**リスキリングプログラム**を実施
- ・ **【新】** 特定技能外国人の確保・定着を支援するため、企業への**出張相談**や**専用ホームページ**を開設

付加価値・生産性向上の支援

[12月補正]	○ 生産性向上を通じた賃上げの支援	1億8,320万9千円
	○ 経営革新による賃上げの支援	3億5,180万円

新 「物流の2024年問題」に対応するトラック運送事業者を支援 [2月補正] 6億233万5千円【P14再掲】

- ・ 安定的な物流サービスを確保するため、トラック運送事業者が行うドライバーの負担軽減や拘束時間削減に向けた取組を支援

新 工業技術センターのオンライン相談体制を整備し、利便性を向上 953万4千円

- ・ 企業からの技術相談の利便性向上を図るため、工業技術センターと企業をリモートでつなぎ、対面と同等の相談対応を実現する体制を整備

新 脱炭素社会実現のための省エネ化につながる製品開発を支援 [2月補正] 5,073万7千円

新 飲食料品製造業者に対する技術支援体制を強化 1,133万9千円

- ・ 食品のロングライフ化に必要な基礎知識を習得するセミナーを開催するとともに企業支援に必要な技術の開発を実施
- ・ 低アルコール日本酒及び酒造工程のデジタル化に係る企業支援に必要な技術の研究開発を実施

新 伝統工芸品の魅力を発信し、新たな販路を開拓 1,131万2千円

- ・ 伝統工芸品のファン獲得のため、「福岡伝統工芸ファンクラブ（仮称）」を創設し、SNSを通じた情報発信や生産者と交流する特別感のある産地訪問ツアーを実施
- ・ フランス・パリにおける伝統工芸品のテストマーケティングを実施



<フランス・パリの伝統工芸品店>

水素グリーン成長戦略の推進

水素グリーン成長戦略の推進 3億4,704万5千円 [2月補正]2,640万円 (2億7,878万4千円)

北九州市響灘臨海エリアを中心とした水素大規模拠点の構築

- ・ **【新】** 国の**実現可能性調査事業**を活用する水素供給事業者を支援
- ・ **【新】** 水素需要の拡大や将来的な県内展開に向け、**全国初のFC船運航事業**に取り組む事業者を支援
- ・ **【新】** グリーン水素の輸入先の検討に向け、水素生産量の拡大が見込まれる**UAEの現地調査**を実施



<響灘臨海エリア>

ニューサウスウェールズ(NSW)州との「水素分野における協力促進に関する覚書」を踏まえた取組の推進

- ・ **【新】** NSW州関係者や豪州企業を招へいし、響灘臨海エリアの視察や企業との意見交換会を開催
- ・ **【新】** 豪州での水素関連展示会等に県内企業と共同出展



<NSW州との覚書締結>

FCトラックの導入拡大

- ・ **【新】** FCトラックの導入や水素燃料に要する費用の一部を助成
- ・ **【新】** FCトラックに対応した水素ステーションの運営に要する費用を助成



グリーンデバイス開発生産拠点の形成

グリーンデバイス開発・生産拠点構想を推進 2億8,361万4千円（1億2,750万7千円）

「三次元半導体研究センター」の機能強化

- ・ **【新】** 企業版ふるさと納税を活用して「三次元半導体研究センター」に**最先端機器**を導入し、研究開発機能を強化するとともに、県内企業の取引拡大や新規参入、県外からの誘致を促進
- ・ **【新】** 最先端実装※に取り組む企業が組織の枠を超えて技術的課題の解決を図る「**最先端実装研究会（仮称）**」を開催

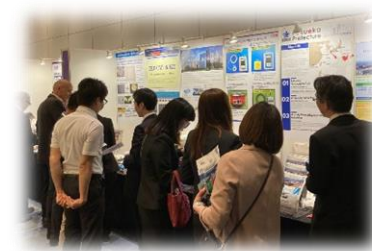
※最先端実装：半導体やデバイスを垂直に積み上げることで、高集積化や配線の短縮を図り、小型化や性能向上などを実現する技術



＜三次元半導体研究センター＞

地元半導体企業の取引拡大

- ・ **【新】** 半導体の設計や製造、評価などに精通した専門家により、県内企業の新規参入から取引拡大までを伴走支援
- ・ **【新】** 九州初となる大型展示会「九州半導体産業展」において、県内企業のブース展示やフォーラム等を実施
- ・ **【新】** 国際カンファレンス「SWTest Asia 2024」において、県内企業のブース展示や交流会を実施



＜半導体国際カンファレンス＞

北部九州自動車産業グリーン先進拠点の推進

北部九州自動車産業グリーン先進拠点の推進 2,758万4千円 (7,117万6千円)
[2月補正]1億2,103万3千円

CASE※に対応したサプライヤーの集積

- ・ 県内サプライヤーが行う自動化や電動化などCASE関連の新製品開発を支援

※CASE：自動化や電動化などの次世代技術やサービスを意味する造語

世界に選ばれる電動車開発・生産拠点の形成

- ・ **【新】** 電動化分野への参入を進めるため、自動車メーカーの電動化関連製造現場を視察し、個別商談を行う「**電動化参入支援商談会**」を開催
- ・ **【新】** 県内サプライヤーがメーカーのニーズに基づいて実施する技術・製品開発を支援

新 全国に先駆け、EVバッテリーリユース・リサイクルの福岡モデルを構築 1,450万5千円

- ・ 全国初のEVバッテリーリユース・リサイクルモデルの構築に向けて、官民挙げた研究会を設置し、ビジネスモデルやロードマップを策定

新 自動車・半導体関連産業を支える人材を育成 1,645万4千円【P11再掲】

- ・ 新たにIT自動車科を設置する八女工業高校に**燃料電池自動車**の実習環境を整備し、即戦力人材を育成

先端技術産業（バイオ、宇宙ビジネス、IT等）の振興

福岡バイオエコシステム形成を推進 2億2,847万4千円 [2月補正] 2,169万7千円 (2億2,098万6千円)

- ・ **【新】** ボストンにビジネスミッション団を派遣し、ピッチイベントや現地投資家との個別マッチング等を実施
- ・ **【新】** 先駆的バイオベンチャーに対して、米国での医薬品承認等を支援
- ・ **【新】** バイオベンチャーの海外での事業展開を推進するため、米国やアジアの市場に精通したアドバイザーによる現地情報の提供や商談の設定、海外展示会への出展支援を実施
- ・ **【新】** 県外の有望なバイオベンチャーを本県へ誘致するため、インキュベーション施設の視察費用を助成

新 宇宙ビジネスを振興 1,609万5千円 [2月補正] 3,030万4千円

- ・ 先進的な宇宙関連機器の更なる軽量化・高性能化等に取り組む県内企業を支援
- ・ 県内宇宙ベンチャーの事業拡大のため、**国内最大級の宇宙ビジネス展示会**への出展支援や**ビジネスマッチングイベント**を実施
- ・ 宇宙関連企業の更なる創出や育成に向け、県内宇宙ビジネスの現状や課題を明らかにするため、県内企業の技術力や取引実態を調査



<宇宙ビジネス展示会>

新 革新的IT産業の振興 2,395万8千円 [2月補正] 1,838万円

- ・ 生成AIなど革新的な技術を活用した製品開発を支援
- ・ 県内IT企業への就職を希望する学生を対象に、即戦力となるための専門的かつ実践的なプログラミング技術を教える「**福岡県HACK-Academia**」を開催
- ・ **県内ブロックチェーン関連企業**の販路拡大のため、首都圏でのピッチイベントへの登壇や専門メディアでの情報発信を支援

スタートアップ・ベンチャーの成長促進

新 スタートアップ・ベンチャーの成長を促進 4,745万6千円

- ・ IT・ブロックチェーン・バイオ分野のスタートアップ及び女性起業家の資金調達を支援するため、CIC※ Tokyoでのピッチイベント「**Fukuoka Innovation Night in Tokyo**」を開催
- ・ 首都圏のスタートアップ等をCIC Tokyo駐在員と連携して招聘し、本県のビジネス環境を紹介する「**福岡イノベーション・ブリッジ**」を実施
- ・ 令和7年春の「**CIC Fukuoka（仮称）**」開設に合わせ、ベンチャーサポートセンター及び福岡アジアビジネスセンターの機能を統合・強化した県の新たなスタートアップ・ベンチャー支援拠点「**グローバル・コネクト・福岡（仮称）**」開設を準備
- ・ 海外展開を志向するスタートアップや中小企業に対し実践的な英語力・ピッチ能力向上のためのセミナー・個別指導を実施

※ CIC（ケンブリッジ・イノベーション・センター）：1999年にボストンで創業した世界的なスタートアップ支援機関



<CIC Tokyo>

新 アトツギ・サッシンベンチャー※の創出・育成 4,096万5千円

- ・ アトツギベンチャーを発掘・育成し、交流による人脈形成を支援する「**福岡アトツギ・ベース**」の実施
- ・ アトツギベンチャーの新商品・新事業開発を支援する「**福岡アトツギ・ジャンプ**」の実施
- ・ サッシンベンチャーを発掘・育成し、交流による人脈形成を支援する「**福岡サッシン・ベース**」の実施

※ アトツギベンチャー：若手後継者が家業の経営資源を活用して新事業に挑戦する中小企業
サッシンベンチャー：第二創業など新分野に挑戦する中小企業



<アトツギワークショップ>

魅力あふれる観光産業の振興

新 福岡・大分DC(デスティネーションキャンペーン)^{※1}を開催 2億8,435万9千円

- ・ 福岡・大分DCオープニングイベントを実施
[日程] 令和6年4月6日・7日 [場所] JR博多駅前広場
- ・ 県内周遊を促進するため、地域の観光資源をめぐるバスツアーを企画する旅行会社に対し、造成費用の一部を助成するとともに、販売を支援するためのポータルサイトを設置
- ・ OTA(オンライン旅行会社)に特設ページを設け、宿泊クーポン^{※2}を発行
- ・ ホテルでの八女茶ティーバッグの提供や、JR博多駅・小倉駅・久留米駅での飾花を実施するとともに、旅館等が行う県産花きの飾花を支援

※1 福岡・大分DC: JR6社と地元自治体等が共同で実施する国内最大級の観光誘客キャンペーン [実施期間] 令和6年4月~6月

※2 クーポン: 2名以上の利用を対象に、1グループあたり最大3,000円割引(割引率20%)



至福の旅!
大吉の旅!
福岡・大分

福岡・大分デスティネーションキャンペーン

観光客の県内周遊・宿泊を促進 2億1,724万3千円(3億1,192万8千円)

- ・ **【新】** DCで高まった旅行需要を継続させるため、県内周遊バスツアーの造成・販売を支援
- ・ 閑散期の平日に観光客を呼び込むため、旅行代金等の一部を助成
[助成内容] 旅行代金・宿泊代金の最大20%(上限3千円) [実施時期] 12月~2月(年末年始は除く)

新 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施 1億495万8千円

- ・ 豪州(教育旅行の誘致)、英国(現地旅行会社と連携した誘客)、米国(クラフトツーリズム商品の開発)、仏国(インフルエンサーを活用した魅力発信)における取組を実施
- ・ 台湾・香港・韓国のインフルエンサーを活用した広域観光エリア動画を配信
- ・ タイ・バンコク都における観光プロモーション及び現地旅行会社向け商談会を開催
- ・ 関東・関西のゴールデンルートから外国人観光客を呼び込むため、関係機関と連携し、福岡の観光情報を発信

※()内の金額は、令和5年度当初予算額

新 インバウンドの消費動向や旅行動向を分析 2,337万9千円

- ・ 金融機関のカード決済データを活用し、外国人観光客の国別、業種別の消費動向を調査
- ・ 福岡空港国際線、博多駅の観光案内所に**多言語翻訳機**を設置し、利用者との会話データから、外国人観光客の旅行動向を調査

新 サイクリストの誘客を促進 3,759万円

- ・ 豪州、韓国のサイクリスト誘客促進のため、**旅行商品**の造成や**プロモーション**を実施
- ・ 海外サイクリストの誘客促進のため、**サイクリングイベント**における**多言語化**を支援
- ・ サイクリングツアーの企画支援やレンタサイクル、ガイド、サポートカーの手配をワンストップで行う「**FUKUOKAサイクリングツアー・コンシェルジュ（仮称）**」を**全国で初めて開設**



新 地域の特色に応じた観光素材の開発等に県独自で上乗せ支援 [2月補正] 8,500万円

- ・ 地域や事業者の特色に応じた観光素材開発を促進し、観光消費額の拡大を図るため、**県独自**で国の補助率を嵩上げし、事業者負担を軽減

新 広域観光エリアの情報発信拠点整備を支援 1,217万4千円

- ・ 県が観光地域づくりに取り組む広域観光エリアにおいて、エリア周遊を促す情報発信拠点の整備を支援

稼ぎ、夢のある農林水産業の実現

新 先端技術の導入による生産力の強化 9,716万円

- ・ 販売単価日本一の大豆新品種「ふくよかまる」の全面転換を加速するため、AIによる種子選別を行う高性能選別機の導入や全国品評会等への出品を支援
- ・ 「はかた地どり」「はかた一番どり」の供給拡大を図るため、食鳥処理施設における全自動解体機の導入を支援
- ・ 「博多和牛」の増産に必要な和牛繁殖農家の哺乳ロボットの導入等を支援



新 園芸農業の先端技術研究開発拠点を整備 4億60万7千円

- ・ 農林業総合試験場の先端技術研究開発機能の強化に向け、新たな拠点施設の用地取得や基本設計等を実施

園芸農業の競争力を強化 14億7,041万8千円 [2月補正] 1億251万5千円 (14億5,350万円)

- ・ 活力ある高収益型園芸産地の育成に必要な施設・機械の導入を支援
- ・ 燃料や農薬使用量の低減・省力化につながるスマート農業機械の導入を支援
- ・ **【新】** 県産キウイ花粉の安定供給を図るため、新たな花粉生産地の創出や技術の確立を実施

水田農業の競争力を強化 1億6,377万6千円 [2月補正] 3億5,104万7千円 (2億4,045万2千円)

- ・ 農作業集約化及び生産規模拡大に取り組む担い手が行う機械の導入を支援
- ・ 燃料や農薬使用量の低減、省力化につながるスマート農業機械の導入を支援

林業の生産力を強化 663万5千円 [2月補正] 1億4,520万4千円

- ・ **【新】** 林業用ドローンを活用した効率的な植栽作業に必要な技術を習得するための研修を実施
- ・ 省エネ・省力化につながる高性能林業機械や木材加工施設の整備を支援

出口対策を強化しブランド力を向上 5,907万5千円 [2月補正] 4,211万2千円 (2,970万円)

- ・ **【新】** 販売10周年を迎える「秋王」の更なる認知度向上を図るため、首都圏等でのPRイベントや高級レストランでのフェアを開催
- ・ **【新】** 「福岡有明のり」のロゴマークをリニューアルし、民間事業者との連携による商品開発や販売促進の取組を支援
- ・ **【新】** ノリ養殖の大規模化に対応するため、収穫作業が省力化できる高性能漁船に適した生産体制を検証
- ・ **【新】** バンコク都との友好交流を通じ「福岡フェア」でのPRを中心とした県産農林水産物の販促活動を実施するとともに、タイ向けみかんの輸出拡大に必要な検疫対応に取り組む産地を支援
- ・ **ストックポイント**を経由する青果物流の更なる効率化を図るため、**レンタルパレット**を活用した新たな出荷体制の構築等を支援



<秋王>

新 選ばれるモノづくりを推進 2,706万1千円 [2月補正] 7,915万4千円

- ・ **パン用小麦新品種**の早期普及に向け、品質評価や製粉企業等へのPRを実施
- ・ **県産米粉**の需要の高まりに対応していくため、商品開発や米粉用米の生産拡大に必要な経費を支援

新 産学官連携による地域振興の推進 9,240万2千円

- ・ 藻場の保全活動による**ブルーカーボン**※を創出するため、産学官が連携し、藻場のCO2固定量を算出しクレジット化するための技術開発や、保全活動で除去したウニを、地元産野菜を餌として養殖する取組を支援
- ・ **CLT**の県産木材シェアを拡大するため、運搬方法の見直し等による流通経費の低コスト化を実証
- ・ 中山間地域の振興に向け、**赤シソ**等の薬用作物の生産拡大を支援するとともに、県内自生状況等の調査を実施
- ・ 野生鳥獣の捕獲や目撃情報を集積し、今後の出没地を分析、予測するためのシステムを開発



<CLT (直交集成板)>

※ブルーカーボン：海藻などに取り込まれた炭素

[12月補正]	○ AIを活用したコメの新品種開発加速	3億5,180万円
	○ 高性能機械・設備導入による生産性向上	31億1,016万1千円
	○ 水産物の輸出拡大	7億1,384万9千円

※()内の金額は、令和5年度当初予算額

戦略的な企業・人材誘致の推進

企業誘致の受け皿となる産業用地を整備 61億7,440万円（26億520万円）

- ・ 苅田港新松山地区において工業用地造成事業を実施
- ・ **【新】** 新たな土地造成を戦略的に進めるため、苅田港の長期的な構想の策定等を実施



< 苅田港新松山地区 >

【工業用地造成事業会計】 7億7,603万4千円

- ・ **【新】** 企業誘致の受け皿となるうきは西部工業用地造成のための調査・測量、用地取得等を実施

「金融・資産運用特区」認定を目指し、国際金融機能形成を促進 1億621万2千円（8,578万3千円）

- ・ **【新】** 資産運用業者やFinTech企業等へのプロモーションのため、北米での金融関連展示商談会へ出展
- ・ **【新】** 海外の金融機関等が来日する機会に合わせ、東京都内で福岡への投資プロモーションを実施

新 スタートアップ・ベンチャーの成長を促進 3,456万5千円【P21一部再掲】

新 海外人材の相談体制を強化し、多彩なステージでの活躍を支援 7,422万円

- ・ 海外人材の生活や就労等に係る相談体制を強化するため、県と国等の海外人材専門機関が一体となり、ワンストップで対応する「FUKUOKA IS OPENセンター（仮称）」を開設
- ・ 留学生をはじめとする高度人材の受入企業の開拓やトライアルインターンシップを行い、企業の人材獲得を促進



将来に向けた社会資本整備

福岡市・北九州市へのアクセス向上を図る道路網を整備 90億2,086万7千円（100億9,305万円）

- ・ 福岡市、北九州市周辺の基幹的道路の整備（福岡東環状線、国道322号香春大任バイパス ほか）
- ・ 福岡、北九州高速道路の整備（福岡都市高速3号線（空港線）延伸、北九州都市高速5号線（戸畑～枝光新設） ほか）

産業振興や地域振興の基盤となる基幹的道路網を整備 89億9,191万9千円（85億2,193万1千円）

- ・ 産業団地等とインターチェンジ、港湾とのアクセス向上を図る道路の整備（国道422号大木大川バイパス ほか）
- ・ 広域的な地域振興を促進する道路を整備（国道443号三橋瀬高バイパス、三潁上陽線 ほか）

下関北九州道路の早期整備に向けた調査・設計を実施 254万4千円（358万5千円）

北九州空港の利用を促進 8億3,592万5千円（7億2,345万4千円）

- ・ **【新】** 半導体関連貨物を北九州空港に集約するため、同貨物の輸送費用の一部を助成
- ・ **【新】** 2024年問題による輸送力不足の解消を図るとともに、更なる国内貨物需要を創出するため、国内貨物専用便を活用した貨物の輸送費用の一部を助成
- ・ **【新】** 北九州空港のアクセス改善に向けた動態調査の実施

三池港コンテナ航路を誘致 5,549万円（5,806万8千円）

- ・ 三池港の利用の安定・拡大を図るため、新たな国際コンテナ定期航路を誘致



<北九州空港>

GX・脱炭素化の推進

水素グリーン成長戦略の推進 3億4,704万5千円 [2月補正]2,640万円 (2億7,878万4千円)【P17再掲】

新 太陽光発電設備等の共同購入とJ-クレジット制度を活用し、地球温暖化対策を促進 1,890万5千円

- ・ 家庭や企業への太陽光発電設備等の導入を促進するため、スケールメリットにより購入費用を低減する**共同購入**の仕組みを構築
- ・ 太陽光発電設備を導入した家庭のCO2削減量を集約して、**J-クレジット制度**※による収益を地球温暖化対策に資する取組に活用

※ J-クレジット制度：太陽光発電設備や省エネルギー設備の導入によるCO2の排出削減量等を取引可能な「クレジット」として国が認証する制度

新 藻場の再生により、海のCO2固定を推進 1,471万1千円【P25再掲】

- ・ 藻場の保全活動による**ブルーカーボン**を創出するため、産学官が連携し、藻場のCO2固定量を算出しクレジット化するための技術開発や、保全活動で除去したウニを、地元産野菜を餌として養殖する取組を支援

新 全国に先駆け、EVバッテリーリユース・リサイクルの福岡モデルを構築 1,450万5千円【P19再掲】

- ・ **全国初のEVバッテリーリユース・リサイクルモデル**の構築に向けて、官民挙げた研究会を設置し、ビジネスモデルやロードマップを策定



安全・安心で活力ある社会づくり

災害からの復旧・復興、防災・減災、県土強靱化の推進

- 被災した道路や河川などの復旧を加速化** 225億5,929万7千円 (97億3,244万円)
・ 災害復旧と併せて行う河川の改良工事等を実施 [12月補正] 71億6,310万円
・ 農地・農業用施設、林道等を復旧
- 日田彦山線沿線の地域振興を支援** 3億4,913万4千円 (3億2,215万8千円)
・ 東峰村、添田町が地域の実情に合わせて実施する、特徴あるデザインのEV車両の導入やクラフトビールの商品開発等の地域振興の取組を支援
・ 地域の利便性の向上や、安全安心の確保を図るための道路整備を実施
- 流域治水を推進** 2億3,490万2千円 (2億2,875万8千円)
・ 雨水貯留が可能な施設 (ため池、グラウンド等) 毎に貯留量等を示した「流域対策実施計画」を作成
- 緊急輸送道路等を整備** 195億8,427万2千円 (199億9,808万5千円) [12月補正] 127億4,496万6千円
・ 災害時の応急活動や緊急車両の通行を確保するため、緊急輸送道路の整備、道路法面の崩壊・落石対策等を実施
- ため池等の安全対策を実施** 55億4,435万円 (48億283万5千円) [12月補正] 40億4,395万8千円
・ ため池や農業用排水施設の整備等を実施

洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進 252億3,947万8千円 (250億9,479万3千円)

- ・ 河川の護岸、砂防施設、地すべり防止施設、港湾施設等を整備

[12月補正] 146億2,626万8千円

新 土木施設の点検・管理におけるDXの推進 1億4,775万6千円

- ・ ドローン及びAIを活用し、職員による災害時等の土木施設点検を迅速化・効率化
- ・ 道路防災情報の一元管理システム構築により、道路維持管理を効率化

新 福岡西方沖地震から20年、地震対策を強化 6,058万4千円

- ・ 南海トラフ地震及び新たな主要活断層の被害想定を調査し、地域防災計画へ反映するとともに、「ふくおか防災ナビ・まもるくん」に地震メニューを追加
- ・ 西方沖地震や能登半島地震を踏まえ、地震防災への意識向上のためのイベントを開催



新 デジタル技術を活用した災害対応力を強化 5,713万5千円

- ・ 災害時における初動対応を強化するため、「Spectee (スペクティ) ※」の活用を市町村等へ拡大
- ・ 河川の状況をカメラで確認できる機能を「ふくおか防災ナビ・まもるくん」に追加
- ・ AI技術を活用し、災害・気象情報から災害リスクを予測するシステムの導入実証を実施
- ・ 災害時における浸水被害等の状況把握のため、衛星データの利活用実証を実施

※Spectee (スペクティ) : SNS投稿における「災害」「大雨」等の単語からAIが分析し、現地の状況を動画や画像でリアルタイムに表示するシステム

新 多様な主体の協働による被災者支援体制を強化 1,720万円

- ・ 災害ボランティア活動の支援団体を拡大するため、NPOや企業などを対象に、多様な主体の連携による被災者支援の重要性を周知するセミナーを実施
- ・ 「地域協働型」災害ボランティアセンターの運営体制構築を推進するため、県社協が実施する研修・訓練等に対し助成
- ・ 広域災害時におけるボランティア活動の円滑化を目的とした訓練を実施
- ・ アウトリーチによる被災者の見守り・相談支援のノウハウを普及させるため、市町村を対象としたマニュアルの作成及び研修を実施

物価・エネルギー高騰対策

地域商品券による地域経済の活性化 [2月補正] 31億4,767万7千円

- ・ 商工会議所・商工会や商店街が、市町村と連携して実施するプレミアム付き地域商品券の発行を支援

材料費高騰に伴う給食費の保護者負担を軽減 [2月補正] 10億5,829万6千円

- ・ 県立学校、私立学校・保育所等における給食の食材費上昇分を支援

ワンヘルスの推進

新 ワンヘルスセンターの整備を推進 1,344万5千円

- ・ ワンヘルス研究を推進する基盤を整備するため、保健環境研究所に病原体情報やレセプトデータ等を一元化し、データ解析のためのワークステーションを整備
- ・ 「ワンヘルス体験学習ゾーン（仮称）」を整備するため、基本構想を策定



<ワンヘルスセンター(イメージ)>

動物保健衛生所の整備を推進 1億2,896万1千円（5,460万6千円）

- ・ 家畜、野生動物、愛玩動物の保健衛生に一元的に取り組む動物保健衛生所の設置に向け、実施設計等を実施

新 アジア新興・人獣共通感染症センター(仮称)の誘致を推進 416万4千円

- ・ センター構想の具体化を図り、九州への早期設置につなげるため、九州大学と共同で、人獣共通感染症等の研究を実施し、モデル事業として、九州各県へ展開

新 ワンヘルスに関する国際会議を誘致 1,536万1千円

- ・ ワンヘルスの専門的な国際会議である「World One Health Congress」の福岡開催に向け、2024年南アフリカ大会におけるプロモーション等の誘致活動を実施

ワンヘルス教育を推進 2,397万8千円（965万3千円）

- ・ **【新】** みやま市と連携して小学生を対象とした生物多様性に関するワンヘルス教育プログラム案及び教材を作成
- ・ **【新】** 小中学生を対象に、農業高校の生徒を交えた**動物飼育体験**などワンヘルス教育を推進
- ・ **【新】** ワンヘルス教育を実践する農業高校において、先進的な飼育や栽培を行い、その研究成果を広く発表
- ・ **【新】** ワンヘルス教育研究推進アドバイザーの活用により、県内大学におけるワンヘルス教育プログラムの導入を促進

地域猫活動を支援 1,695万5千円 (388万円)

- ・ 地域猫活動導入市町村に対し、活動の担い手育成及び地域住民への理解促進を動物愛護団体と協力して実施
- ・ **【新】** 動物愛護センターにおける地域猫の**不妊去勢手術**の実施



<地域猫活動>

野生鳥獣の捕獲を強化 5,058万5千円 (882万4千円)

- ・ **【新】** 野生鳥獣の捕獲や目撃情報を集積し、今後の出没地を分析、予測するためのシステムを開発
- ・ **【新】** 特定外来生物**アライグマ**の防除を推進するため、捕獲個体の処分体制の整備や防除計画参加市町村にわなを無償貸与

新 太陽光発電設備等の共同購入とJ-クレジット制度を活用し、地球温暖化対策を促進 1,890万5千円 【P28再掲】

- ・ 家庭や企業への太陽光発電設備等の導入を促進するため、スケールメリットにより購入費用を低減する**共同購入**の仕組みを構築
- ・ 太陽光発電設備を導入した家庭のCO2削減量を集約して、**J-クレジット制度**による収益を地球温暖化対策に資する取組に活用

新 藻場の再生により、海のCO2固定を推進 1,471万1千円 【P25,P28再掲】

- ・ 藻場の保全活動による**ブルーカーボン**を創出するため、産学官が連携し、藻場のCO2固定量を算出しクレジット化するための技術開発や、保全活動で除去したウニを、地元産野菜を餌として養殖する取組を支援

こどもを安心して産み育てることができる地域社会づくり

新 こどもの意見を反映した「こども計画」を策定 2,446万7千円【P9再掲】

- ・ こども施策を総合的に推進する「こども計画」にこどもや若者の意見を反映させるため、ワークショップや新たに構築するポータルサイト上で意見聴取を実施

新 将来の妊娠を考慮した思春期からの健康管理を支援 2,185万1千円

- ・ プレコンセプションケアセンターを設置し、助産師と産婦人科医が不妊や性感染症など、性と健康に関する正しい知識を相談支援や研修会により発信

新 産後ケア利用者負担を軽減する県独自の補助制度を創設 1億2,063万3千円

- ・ 産後の母子が心身ケアや育児サポートを受けられる産後ケア事業の利用促進を図り、母子の健やかな生活を支援

[12月補正] ○ 病児保育の提供体制整備 7,652万8千円



新 市町村こども家庭センターの機能を強化 818万8千円

- ・ 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し母子保健と児童福祉が一体となった相談支援を行うため、こども家庭センター職員に対する研修を実施

新 育児中の柔軟な働き方を支援 2,196万4千円

- ・ 男性の育児休業など仕事と育児が両立できる柔軟な働き方制度の導入を促進するため、中小企業事業主を対象にセミナーを実施するとともに、**社会保険労務士**を派遣

新 保育士配置改善対策支援補助金の創設 510万円【P14再掲】

- ・ 国基準に基づく保育士の配置改善に対応するまでの間、**短時間勤務の保育士**確保を支援

新 若年・子育て世帯への中古住宅取得支援の強化 5,243万円

- ・ 子育てしやすい良質な中古住宅を安心して取得できるよう、**建物状況調査**と**調査後のリノベーション**に係る費用を助成

新 児童虐待から子どもを守る体制を構築 6,027万8千円

- ・ 児童虐待防止対策の強化を図るため、児童福祉司の増員等に対応した**久留米、大牟田、宗像の各児童相談所**の改修に着手
- ・ 虐待の医学的立証が困難な事案について事件性等を迅速に判断するため、複数の医師から専門的意見を
得るためのカンファレンスチームを結成
- ・ 警察本部と小倉北警察署に被害児童が安心して話せる司法面接室を整備

ジェンダー平等、女性活躍の推進

新 「福岡県ジェンダー平等フォーラム(仮称)」を開催 541万1千円

- ・ 基調講演や県民企画による県内各地域でのパネルディスカッション等を実施
[開催期間] 令和6年10月～11月

新 若者のジェンダー平等への理解を促進 141万3千円

- ・ 高校生がジェンダー平等について意見交換し、その成果を同世代の若者や社会に向けて発信するワークショップを開催

新 女子中高生のキャリアデザインを応援 600万円【P12再掲】

- ・ 女子中高生が柔軟な発想と幅広い視野で将来のキャリアを考えられるよう、様々な分野で活躍する先輩女性とのトークライブや、日本をけん引する女性リーダーを招いたフォーラムを開催

新 テクノロジー分野における女性の活躍を推進 2,230万9千円【P11再掲】

- ・ 女性エンジニアにフォーカスを当てたPR動画を制作し、キャリア教育で活用するほか、女子中高生等を対象にした職場見学会を実施する「ガールズテックプログラム(仮称)」を開催

女性活躍に向けた企業の意識変革を促進 1,746万8千円(1,266万2千円)【P12再掲】

- ・ **【新】** 企業経営層に対し、女性活躍に向けた若者の意見を動画で発信
- ・ **【新】** 企業経営層や人事労務責任者を対象に、女性が働きやすい職場環境整備促進のための研修を実施

新 育児中の柔軟な働き方を支援 2,196万4千円【P35再掲】

- ・ 男性の育児休業など仕事と育児が両立できる柔軟な働き方制度の導入を促進するため、中小企業事業主を対象にセミナーを実施するとともに、**社会保険労務士**を派遣

働く場における女性の活躍を推進 7,777万円（637万5千円）【P12再掲】

- ・【新】働く女性の交流の場「福岡キャリア・カフェ」の出張カフェを北九州、筑後、筑豊地区で開催
- ・【新】「ママと女性の就業支援センター」を開設し、子育て中の女性や非正規・求職中の女性に対し、アドバイザーやキャリアコンサルタントがきめ細かな就業支援を実施

新 地域公共交通で働く女性を支援 1,722万9千円 [2月補正] 1億3,200万円【P14再掲】

- ・女性がバス・タクシーの運転手として活躍できるよう女性用トイレの整備やドライブレコーダーの導入等を支援
- ・国や業界団体と連携し、バス・タクシー運転手の魅力紹介動画の配信や運転体験会、合同会社説明会等を実施

新 女性の起業を促進 236万8千円【P12再掲】

- ・起業を目指す女性や創業間もない女性を対象に、出産子育てとの両立などの相談に対応する「女性の起業サポートデスク（仮称）」を開設するとともに、女性の先輩起業家と交流できる「女性起業家育成ネットワーク（仮称）」を設置

新規創業資金に「女性創業型」を創設 融資枠 16億円【P15一部再掲】

- ・【新】新規創業資金に保証料ゼロの「女性創業型」を創設
[保証料]県と信用保証協会で全額補てん（0.95%→0%）

新 女性起業家の資金調達を支援 144万2千円【P21再掲】

- ・女性起業家の資金調達を支援するため、CIC Tokyoでのピッチイベント「Fukuoka Innovation Night in Tokyo」を開催

新 伝統の味を承継する女性農林業者を支援 4,500万円

- ・地域の特産品である漬物の味を守るため、女性農林業者のグループが取り組む漬物の製造に必要な施設整備を支援



誰一人取り残さない支え

困難な問題を抱える女性への支援を強化 5,187万7千円 (1,934万5千円)

- ・ **【新】** 生活上の問題を抱え支援が必要な女性からの相談に対応する「**女性サポートホットライン（仮称）**」を設置
- ・ **【新】** 若年女性への支援を強化するため、フリースペースにおいて産婦人科医による健康相談を実施するとともに、新たに北九州市にフリースペースを設置

新 こども意見表明支援センターを設置 2,532万3千円

- ・ 児童養護施設や一時保護所等におけるこどもの処遇に子ども自身の意見が反映されるよう、その意見の形成・表明を支援する「**こども意見表明等支援員**」を派遣するセンターを設置

少年の大麻乱用を防止 1,156万7千円 (228万7千円)

- ・ **【新】** 心理学の専門家がSNSを活用して、少年の大麻乱用防止のための積極的なアウトリーチによる相談支援を実施

新 強度行動障がいのある人の支援体制を整備 720万6千円

- ・ 強度行動障がいのある人を受け入れるグループホームの拡大を図るため、支援方法に係る助言等を行う社会福祉士を「**発達障がい者（児）支援センター（福岡地域）**」に配置するとともに、グループホームの中堅職員を対象に実地研修を実施

新 手話を使用しやすい環境を整備 1,084万5千円

- ・ 県の窓口でQRコードを用いた遠隔手話システムを導入するとともに、手話を学ぶ職員研修の充実により、県の手話対応環境を整備

新 筑豊緑地にインクルーシブな空間を整備 2億5,770万円

- ・ 障がいの有無に関わらず、子どもたちが一緒に遊べる広場に加え、誰もが自由に寝そべて遊べる屋根付きの空間を整備



<完成イメージ>

スポーツ、文化芸術の振興

新 「バレーボールネーションズリーグ2024福岡大会」を契機としたスポーツ振興 4,843万円

- ・九州初開催となる「バレーボールネーションズリーグ2024福岡大会」の観戦に小学生を招待するとともに、中学校・高校において、県内のトップアスリート・コーチによる出張バレーボール教室を実施
- ・来場者等にバレーボールの魅力や本県の農林水産物、観光地等をPRするとともに、国内外へワンヘルスの理念を発信



<バレーボール教室>

新 「ツール・ド・九州2024」を開催 2億2,422万5千円

- ・福岡、熊本、大分を舞台とした国際自転車競技連合認定の国際サイクルロードレースを開催

新 こどもたちが世界に触れ成長する「世界少年野球福岡大会」を開催 4,027万円【P9再掲】

- ・世界各国・地域と本県のこどもたちが野球を通じて交流し、国際感覚を高める
「第30回世界少年野球大会福岡大会」を開催

新 「令和6年度全国高等学校総合体育大会」を開催 4億9,418万2千円

新 「Fukuoka Sports Award 2024」を開催 744万円

- ・2024年パリオリンピック・パラリンピック競技大会に出場した本県ゆかりの選手による県民報告会を開催



2024
<令和6年度全国高等学校総合体育大会ロゴマーク>

県営公園にアーバンスポーツ施設を整備 1億3,500万円(3億8,000万円)

- ・アーバンスポーツの人気を捉え、BMXの拠点として筑後広域公園にBMXパークを整備
- ・筑豊緑地において、パリオリンピックの競技種目となっているスポーツライミング「ボルダリング」「リード」「スピード」の三種類を備えた県内唯一の施設整備に向け、実施設計を実施

※()内の金額は、令和5年度当初予算額

多彩な文化芸術を鑑賞・体験できる「ふくおか県芸術文化祭」を開催 7,638万7千円（3,354万5千円）

- ・【新】学生の企画を取り入れた「芸術文化祭オープニングフェス」を天神中央公園で開催
- ・【新】専用ホームページで、公演内容やメディアアートの投稿作品を発信
- ・【新】大濠公園能楽堂で、能・狂言や筑前琵琶などの伝統芸能が一堂に会する公演を開催

新 文化芸術イノベーションアカデミーの開催 401万2千円

- ・誰もが文化芸術に親しむことができるよう、市町村が行う文化芸術事業の企画力の向上を支援する研修会を実施

新 旧福岡県公会堂貴賓館の魅力を発信 587万9千円

- ・多くの方々に文化財の魅力を知ってもらうため、貴賓館において、ナイトコンサートやフラワーイベントを開催するとともに、本格フランス料理を提供



<旧福岡県公会堂貴賓館>

障がいのある人のアート作品の魅力を発信 1,350万5千円（434万円）【P13再掲】

- ・【新】障がいのある人の収入向上を目指し、レプリカや画像データを販売
- ・【新】障がいのある人のアート作品を紹介する「まごころアート FUKUOKA Gallery（仮称）」を県庁ロビーに整備するとともに、市町村等と連携した展示会を開催

健康づくり、安心して質の高い医療・介護サービスの提供

ふくおか健康づくり県民運動を推進 1億3,762万7千円 (2億7,199万3千円)

- ・ 食品スーパーなどでの「スマソる? 弁当 (減塩弁当)」の販売促進
- ・ **【新】** スロージョギング等の取り組みやすい運動を啓発し、実践・継続を促進
- ・ 市町村が開催する「ケア・トランポリン」健康教室を支援



新 外科医確保のための遠隔手術指導を支援 2,250万円【P14再掲】

- ・ 手術ができる現役世代の外科医不足や地域偏在の是正に向け、**リモートでの手術指導**に必要な機器を整備する病院を支援

新 電子処方箋の導入を促進 [2月補正] 11億3,627万3千円

- ・ 重複投薬の抑制や医療機関等の業務効率化のため、電子処方箋の導入費用を助成

新 在宅医療・介護従事者の安全確保を支援 3,157万円【P14再掲】

- ・ 在宅医療・介護サービス利用者等からの暴力・ハラスメントに適切に対応するため、**マニュアル**の作成や**研修**を実施するとともに**相談窓口**を開設
- ・ 暴力・ハラスメントのおそれがある利用者宅への**訪問同行者**の費用を支援
- ・ 利用者宅にて身の危険を感じた際に、外部に**SOSを発信**するために必要な機器導入を支援

新 新興感染症の発生に備えた体制を整備 3,366万5千円 [2月補正] 7億4,789万1千円

- ・ 保健環境研究所及び保健所に検査機器や試薬等を整備
- ・ 医療機関等の人材を育成し、精度の高い病原体検査を受検できる環境を整備
- ・ 新興感染症に対応する医療機関が行う個室病床や簡易陰圧装置等の整備を支援

地域の活力の創出

MaaS※による地域公共交通の利用促進 1億2,829万1千円 (8,843万7千円)

- ・【新】九州の官民が一体となってMaaSに取り組み、九州を周遊できるデジタル乗車券の造成やプロモーションを実施
- ・【新】通院や買い物等で日常的に公共交通の利用を促すため、スマートフォンで利用できるデジタル乗車券の造成を支援
- ・ICカードデータや人の移動データなどの交通関連データを可視化・分析し、地域の交通課題を洗い出すことにより、新たな施策検討に活用

※ MaaS:マース (Mobility as a Service)
ICTを活用し、複数の移動手段を最適に組み合わせたサービス



新 地域公共交通の人材を確保 1,722万9千円 [2月補正] 1億3,200万円 [P14,P37再掲]

- ・ 女性・外国人等がバス・タクシーの運転手として活躍できるよう、女性用トイレの整備や配車アプリの導入等を支援
- ・ 国や業界団体と連携し、バス・タクシー運転手の魅力紹介動画の配信や運転体験会、合同会社説明会等を実施

新 鉄道駅のバリアフリー化を促進 2,375万円

- ・ 鉄道事業者が行う鉄道駅のバリアフリー化整備に要する費用のうち、市町村負担分の一部を支援

新 官民連携による公共空間の利活用を促進 1,500万円

- ・ まちの魅力の向上を図るため、民間と連携して市町村が行うまちなかの公共空間の利活用に向けた検証を支援

新 県民向け施設へのネーミングライツの導入 772万8千円

- ・ 県民向け施設にネーミングライツ（命名権）を導入し、得られた命名権収入を財源に各施設の利便性向上のための整備を実施

移住・定住を促進 1億6,912万8千円（1億8,313万9千円）

- ・ **【新】** 東京・大阪の移住希望者向け大規模イベントでの本県PRと先輩移住者による**移住者サロン**を同時開催
- ・ 地場産業など特色ある就業と居住、交流体験が一体となったプログラム「**くらしごと体験**」を移住希望者に提供
- ・ 本県と移住促進の取組を協働して行うパートナーシップ協定企業等のワーケーションや移住体験の取組を支援
- ・ 東京23区を対象とした国の移住支援金制度に加え、県独自に要件（対象地域・職種）を拡充し、移住支援金を支給

世界に向けた発信と交流の推進 "FUKUOKA IS OPEN"

新 「FUKUOKA IS OPENセンター（仮称）」を開設し、海外人材の相談体制を強化 7,422万円【P26再掲】

- ・ 海外人材の生活や就労等に係る相談体制を強化するため、県と国等の海外人材専門機関が一体となり、ワンストップで対応する「**FUKUOKA IS OPENセンター（仮称）**」を開設
- ・ 留学生をはじめとする高度人材の受入企業の開拓やトライアルインターンシップを行い、企業の人材獲得を促進



新 バンコク都との友好交流を促進 4,875万8千円

- ・ 友好提携先であるタイ・バンコク都での本県の認知度向上を図るため、訪問団を派遣し、現地で「**福岡フェア**」を開催するとともに、現地旅行会社向け商談会を開催【P22再掲】
- ・ バンコク都における「**福岡フェア**」での農林水産物の販売促進のためのPR活動を実施するとともに、タイ向けみかんの検疫対応に取り組む産地を支援【P25再掲】
- ・ バンコク都のごみの減量化を支援するため、バンコク都民向け**啓発動画**の制作や都が行う再資源化の仕組みづくりに関する技術指導を実施

快適な環境の維持、保全

新 西公園に眺望を活かした展望台を整備 3億9,000万円

- ・ 博多湾や福岡都市部を360°見渡すことができる展望台や、民間活力の導入による飲食施設を整備

新 海岸漂着ごみ・クリーンアップ大作戦を実施 1,968万4千円

- ・ 日韓海峡沿岸8県市道による海岸漂着ごみ一斉清掃を実施
- ・ 県内3箇所の海岸でビーチクリーニング大会を開催するとともに、大会で回収した海岸漂着ごみを使ったアート作品を制作・展示

新 市町村におけるプラスチック分別収集・再資源化の支援 1,798万8千円

- ・ 製品プラスチックの再資源化を促進するため、分別収集・再資源化の実証と、複数市町村の連携による実施体制の構築を支援

新 先進的なプラスチック代替製品の開発を支援 1,545万5千円

- ・ 石油由来プラスチックの使用削減のため、バイオプラスチック等を活用した先進的な代替製品の開発を支援

新 AI技術を活用した大気汚染予測情報の発信 1,358万3千円

- ・ 保健環境研究所が開発した大気汚染予測システムにAIを導入し、**全国で初めて**、県内4地域別に精度の高い**3日先まで**の大気汚染予測情報を県ホームページやSNSで発信

道路の安全を確保 109億8,611万7千円 (112億1,087万円)

- ・ 通学路の歩道整備や交差点の改良工事等を実施
- ・ 市街地における道路の拡幅やバイパス整備を実施

[12月補正]	○ 道路の安全確保	13億9,145万4千円
	○ 港湾機能の維持・強化	7億9,065万円
	○ 都市公園など生活環境の整備	5億1,799万5千円
	○ 障がい者福祉施設の整備支援	21億1,417万円

治安の確保

新 急増する特殊詐欺に対する取締りを強化 2,517万4千円

- ・ 最新のスマホ解析機器や暗号資産追跡調査装置を導入し、犯罪組織・犯罪収益の実態を迅速に解明
[特殊詐欺県内認知件数] 令和2年：201件 → 令和5年：576件

新 児童福祉施設等における性被害防止対策を支援 [2月補正] 4,959万3千円

- ・ こどもたちの性被害防止対策を促進するため、児童福祉施設等が実施するカメラ設置等の取組を支援

新 消費者被害防止のための啓発をSNSで実施 582万9千円

- ・ 消費者相談が多い商品・サービスに関するトラブルを注意喚起する動画を発信

新 県内企業におけるサイバー犯罪対策を強化 249万7千円

- ・ サイバー犯罪への対処能力を強化するため、警察と県内企業での机上演習訓練や模擬標的型メール訓練を実施

ヘルメット着用をはじめとする自転車の安全利用を促進 1,658万4千円 (1,615万8千円)

- ・ **【新】** ヘルメット着用のイメージ向上のための15秒動画を募集・配信するCMグランプリを開催
- ・ **【新】** 自転車の交通ルールを学ぶことができるWebサイト「eチャリ・ラーニング (仮称)」を作成

新 渡辺通ゴールド免許センターを移転・拡大 3,836万4千円

- ・ 千代合同庁舎に移転し、講習室を拡大するとともに、授乳室や親子ルーム等を新設

行政DXによる県民サービスの向上

新 DXによる県民サービスの向上 3億3,371万1千円

- ・ 県への公金支払いについて、コンビニ・スマホ等で24時間納付を可能とするためのシステムを整備
- ・ 県立高校入試におけるWeb出願システムの導入、授業料等口座振替申込手続きをオンライン化

新 AI技術を活用した大気汚染予測情報の発信 1,358万3千円【P45再掲】

- ・ 保健環境研究所が開発した大気汚染予測システムにAIを導入し、全国で初めて、県内4地域別に精度の高い3日先までの大気汚染予測情報を県ホームページやSNSで発信

新 地理情報システムを用いた盛土許可業務の効率化 1,760万円

- ・ 盛土規制法の運用のため、盛土の規制区域や許可範囲を電子地図上で一括管理できる地理情報システムを導入

新 騒音・振動に係る規制区域図をWeb上で公開 1,199万5千円

- ・ 騒音規制法・振動規制法に基づく規制区域図を地理情報システムを用いてデジタル化し、Web上で公開

DXによる行政事務の効率化 8,721万5千円 (5,191万4千円)

- ・ **【新】** 行政事務の効率化を推進するため、生成AI利活用環境を構築
- ・ **【新】** デジタル技術を活用した事務処理や施策立案、課題解決ができる人材を育成するための研修環境を整備

新 DXによる警察業務の迅速化 1,328万1千円

- ・ 次世代型測量機器※1を導入し、通行止め時間を短縮することで、交通事故における渋滞を緩和
- ・ 電話相談に迅速・的確に対応するため、警察本部相談センターにAIを活用したコールセンターシステム※2を導入

※1 次世代型測量機器：走行しながら事故現場の撮影・測量が可能な機器

※2 AIを活用したコールセンターシステム：通話内容の即時テキスト化や重要ワードアラートで相談員の対応をサポートするシステム